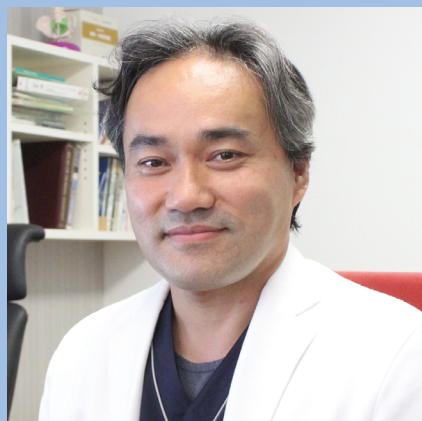


整形外科

肩関節周囲炎（五十肩）

肩関節周囲炎は、中年以降、特に50歳代に多くみられます。症状としては、肩の違和感や痛み、肩を動かしたときの動作時痛、夜の痛み夜間痛、肩が上がらないなどが代表的な症状です。その多くは関節を構成する骨・軟骨・靭帯・腱などの老化などが原因で変性を起こしたり、その周囲の組織に炎症が起きたりすることが主な原因と考えます。

診断は、圧痛部位（押して痛い部分）や肩関節の動きのテストや状態、X線（レントゲン）撮影・超音波検査などを行います。症状は自然に治ることもありますが、放置していると日常生活が不自由になるばかりでなく、組織の癒着などが起こり動かなくなることもあります。治療に関しては、急性期には三角巾などで安静をはかり消炎鎮痛薬や注射などが有効です。急性期を過ぎた症状は温熱療法や運動療法などのリハビリが有効です。これらの治療で改善しない場合は、手術をすすめる場合も。肩が痛いなどの症状があれば気軽に相談を。



大国 央志

■ 整形外科

新ゆり整形外科



☎044-955-1154
麻生区上麻生1-3-5
ドレイクビル2F
<http://shinyuri-seikeigeka.com/>